



アグリ情報 ちば

Agri Information CHIBA



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。

1月5日(金) 初市の野菜宝船 (大田市場)



CONTENTS

年頭のご挨拶

食と農を未来へつなぐ JA全農ちばの取組状況

- 買取販売の拡大・実需者直接販売の拡大

営農情報

- 園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- 販売経過および情勢

米穀情報

- 米穀情勢

農業機械情報

- 共同購入コンバインを取り扱い開始

肥料情報

- 水稲育苗培土・省力化技術のご紹介

資材情報

- 「本州太陽シート」でらくらく平置き育苗(水稲)

トピックス

- 牛乳とお肉を使った料理教室を開催!
- 令和5年度千葉県農協A.T.A協議会
総合技術研究会およびサツマイモ専門指導員認証式を開催

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ

- さつまいも de ハッセルバック

JAタウン

- JA全農ちば 愛情いちばん館

年頭のご挨拶



全国農業協同組合連合会千葉県本部
運営委員会会長 林 茂 壽

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
組合員、JAならびに関係機関の皆様におかれましては、ご健勝にて新たな年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、日本全体が少しずつ日常を取り戻していく一方で、農業を取り巻く環境は依然として厳しいものとなりました。緊迫化した国際情勢による肥料や飼料、燃料の価格の高騰が続くにも関わらず、農畜産物への適切な価格転嫁は進まず、更には猛暑や台風などの自然災害による農業被害も深刻な問題となりました。

不安定な情勢を受け食料安全保障に対する国民の意識が高まり続けるなか、JAグループは国に対して食料安全保障の強化に向け、組織を上げて政策提案を行ってまいりました。

国はこうした状況を受け、基本理念の1つとして「食料安全保障の確保」を規定した「食料・農業・農村基本法」の改正案を、今通常国会へ提出することとなりました。

JA全農は、3か年計画（2022～24年度）の最終年度を迎えます。今次3か年計画では、2030年のあるべき姿を見据えて「持続可能な農業と食の提供のため“なくてはならない全農”であり続ける」という基本姿勢のもと、生産基盤の維持や産地づくり、生産性の向上に努めるとともに、生産から販売までの一気通貫した仕組みの構築による販売強化等により、農業者所得の増大を組合員の皆様に実感していただけるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、本会事業へのご理解とご協力をお願いするとともに、本年が皆様と千葉県農業にとりまして新たに飛躍する年となりますようご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

食と農を
未来へつなぐ

JA全農ちばの取組状況
米穀事業

買取販売の拡大・ 実需者直接販売の拡大

食と農を未来へつなぐ
JA全農ちばの取組状況

1. 取組目標と内容

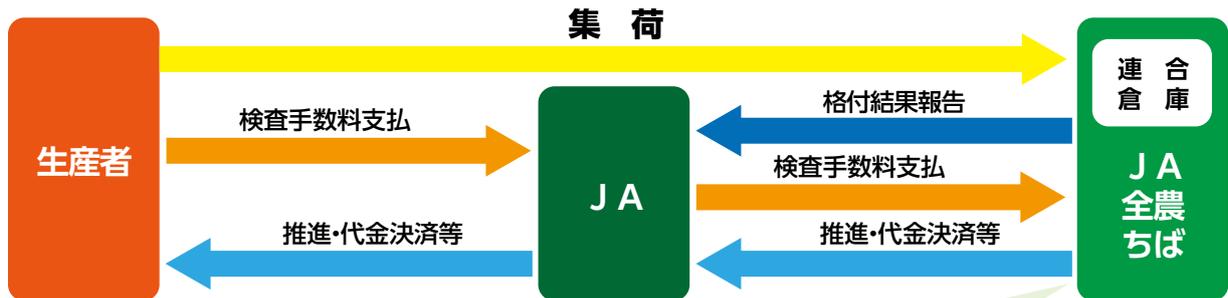
生産者の手取り早期確定による農業経営の安定をはかるため買取販売を拡大し、実需者に対する安定供給を継続するとともに、生産者に対しては実需者ニーズに基づく生産販売を提案しています。

2. 自己改革の進捗状況

(1) 買取販売の拡大

- 米穀卸と販売数量の事前契約を結び、販売先の確保に努めています。
 - JA・千葉県農業者総合支援センターと連携し、大規模担い手生産者からの直接集荷に取り組んでいます。
- 令和5年産米実績：7JA 1,010.67トン（前年比102%）

直接集荷フロー図



連合倉庫で農産物検査をする検査員



(2) 実需者直接販売

- 生協・量販店・業務用取引先および米穀卸と契約を結び、安定した取引に継続的に取り組んでいます。
 - 大規模担い手生産者（89名）を対象に、反収の確保や作期分散を目的に実需者提携米の契約栽培を提案し、実需に結び付けた販売をすすめています。
- 令和5年産米実績：1,256.2トン（前年比106%）

3. 今後の取り組み

引き続き、生産者の農業経営の安定化に向けて、実需者ニーズに基づく提案や需要に応じた生産販売に取り組んでまいります。

園芸野菜 病害虫防除情報

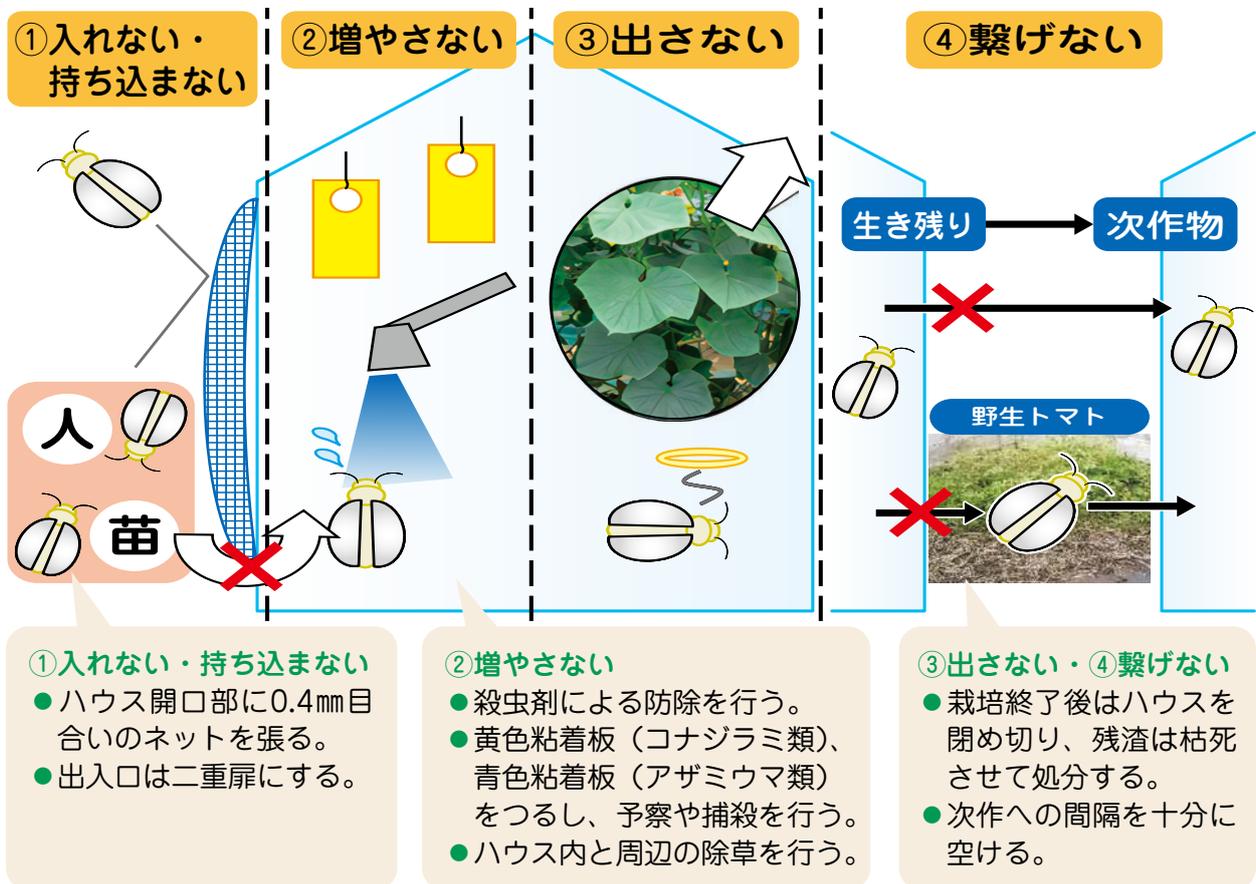
1. はじめに

気象庁発表の1か月予報によると、1月は晴れの日が多く、気温が平年よりも高くなる見込みとなっています。病害虫の発生は、年内から比較的少なく推移していますが、この時期から発生させてしまうと春先の被害が大きくなるリスクがあります。引き続き、病害虫発生前から初発生までの防除を徹底しましょう。

2. 施設野菜 微小害虫対策（コナジラミ類・アザミウマ類など）

微小害虫対策で重要なのは、害虫をハウスへ**侵入させない**ことです。コナジラミ類やアザミウマ類は越冬作型のハウス内やハウス周辺の雑草等に生息しており、風や人・モノの移動により育苗ハウス内へ侵入します。栽培初期に発生してしまうと、ウイルス病等のリスクも大きくなります。基本的な対策を徹底することが重要なため、下記の事項を再確認しましょう。

- ハウス開口部や風上側など、害虫が飛び込みやすい箇所には0.4mm目合いの防虫ネットを展張しましょう。
- 防虫ネット等にほつれが無いか確認しましょう。
- 側窓・天窗下などに黄色粘着板を吊るし、予察・捕殺を行いましょう。
- 害虫が発生しているハウスに入った際は、出る前に作業服をよくはたきましよう。
- 前作残渣は、きちんと枯らしてから処分ましよう。



●トマト コナジラミ類・アザミウマ類 初期防除剤（育苗～定植）

対象害虫	IRAC コード	薬剤名	使用量・使用方法	使用時期	使用 回数	注意点
コナ ジラミ類	4A (ネオニコチ ノイド系)	ベストガード 粒剤	1～2g/株 株元処理	育苗期	1回	育苗期・定植時 どちらか1回
			1～2g/株 植穴土壌混和	定植時	1回	
コナ ジラミ類 ・アザミ ウマ類	28 (ジアミド系)	プリロッソ粒剤 (オメガ)	2g/株 株元散布	育苗期後半～ 定植時	1回	プリロッソは 土壌水分が必要
		ベリマークSC	400倍/25ml/株～ 800倍/50ml/株 灌注	育苗期後半～ 定植当日		

●トマト コナジラミ類・アザミウマ類 生育時の散布剤

対象害虫	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	浸透 移行性
コナジラミ類 ・ アザミウマ類	5	ディアナSC	2500	収穫前日 まで	2回以内	×
	6	アグリメック	500～1000		3回以内	×
	23	モベントフロアブル	2000		3回以内	○
	28	ベネビアOD	2000		3回以内	○
	4A	モスピラン顆粒水溶剤	2000		3回以内	○
コナジラミ類	9B	コルト顆粒水和剤	4000		3回以内	×

注意：薬剤抵抗性が出ないように、系統の異なる薬剤を選択しましょう。

●薬剤使用時のポイント

- 粒剤・灌注処理剤は、根から成分が吸収されることで効果を発揮します。使用方法を守って使用しましょう。
- コナジラミ類・アザミウマ類はどちらも下位葉裏側から寄生を始めます。発生状況を確認し、発生前～発生初期に防除を行いましょう。
極初期発生は膝より下の高さで見られるため、葉の裏をよく観察しましょう。
- 同じ系統（IRAC）の薬剤の連続散布は避けましょう。
アザミウマ類はおよそ10～14日、コナジラミ類は21日ほどで卵から成虫になります。散布後はこの期間が経過する前に発生状況を確認し、次の防除時期を検討しましょう。

コナジラミ類 幼虫・サナギ



園芸情報

販売経過および情勢

青果物 12月の販売経過

12月の天候は、月平均としては寒気の影響が弱かったため、東日本では月平均気温が高くなりました。上旬後半から中旬前半にかけて寒気の流れ込みが弱かった一方、中旬後半から下旬前半にかけては強い寒気流れ込んだため、全国的に気温の変動が大きくなりました。寒気流れ込んだ時期には、日本海側で大雪となったところがありました。

降水量は、中旬から下旬にかけて低気圧と冬型の気圧配置の影響を受けた東日本の日本海側で多くなりました。一方、低気圧の影響が弱かった北・東日本の太平洋側と、冬型の気圧配置の影響が弱かった北・西日本の日本海側では少なくなりました。

日照時間は、冬型の気圧配置や高気圧の影響で晴れた日が多かった東・西日本の太平洋側で多くなりました。

12月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は12万679 t（前年比96.2%）となりました。

主要品目別では、ほうれんそう・なすなどは気温高による前進出荷により増加しました。一方、たまねぎ・さといもは、夏の高温による作柄不良の影響を受け減少したほか、レタス類などが前進出荷の反動により減少しました。

価格は257円/kgで前年比108.1%となりました。

ピーマン類422円（前年比88%）・きゅうり442円（前年比89%）は前年を下回ったものの、たまねぎ192円（前年比178%）・ねぎ372円（前年比128%）・レタス類237円（前年比127%）・にんじん138円（前年比117%）などは、前年を上回りました。

12月の果実の入荷量は4万6,646 t（前年比94.1%）となりました。このうち、国産果実は、前年同月に比べて5.7%減の4万4,232 t、輸入果実の入荷量は、全体で同年同月に比べて9.9%減の2,413 tでした。

国産の主要品目別では、いよかん・キウイ等は増加となりましたが、柿・ふじ・いちご等は減少しました。国産の価格は542円/kg（前年比で116.2%）となりました。

富有・ふじ・キウイ等は前年を上回りましたが、ポンカン・アールスメロン等は前年を下回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（12月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	120,679	96.2	257	108.1
果 実	46,646	94.1	528	116.0

JA全農ちばの販売状況（12月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	41,479	110	142	103	5,875	114
果 実 計	151	121	2,039	102	309	123
だいこん	11,441	120	63	110	721	132
にんじん	10,988	100	123	122	1,347	122
キャベツ	8,859	134	75	125	667	168
ほうれん草	182	123	329	90	60	111
ね ぎ	1,480	74	388	133	575	99
春 菊	151	113	709	90	107	102
レ タ ス	689	128	223	101	153	129
パ セ リ	42	89	1,535	148	65	132
きゅうり	1,169	110	398	91	466	100
ト マ ト	550	91	335	104	184	94
さつまいも	3,158	97	204	95	645	92
い ち ご	147	121	2,096	102	308	123

1月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	やや多	13,560	やや安	98	愛知 千葉 神奈川	各産地で生育は概ね順調。主力の愛知で潤沢な出荷が見込まれることから出荷量は前年をやや上回り、販売苦戦が予想されるため、価格は前年をやや下回る見込み。
だいこん	並	10,281	やや安	99	千葉 神奈川	平年に比べ温暖な気候となる予報から、前進出荷となり1月中下旬に出荷量が減少する可能性がある。価格は、前年より下がるものの平年を上回る見込み。
にんじん	並	8,591	並	118	千葉 埼玉	千葉は生育・肥大ともに良好で太物の発生率が高く、前年並みの出荷量となる見込み。販売は前半は厳しく、出荷量が落ち着く後半以降に価格の上昇が見込まれる。
トマト	並	5,064	並	351	熊本 愛媛 本知木	暖冬の影響を受け1月前半までは各産地で順調な出荷が予想されるが、後半は成り疲れにより減少する見込み。それに伴い、厳しい状況が続いた販売環境の回復が見込まれる。
きゅうり	多	4,154	安	509	宮崎 高知 千葉	年末は冷え込みにより少ない出荷となったが、年始で潤沢になり、寒波次第ではあるが前年を上回る見込み。価格は高値だった前年を下回り、平年並みの見込み。
ねぎ	やや多	6,013	やや安	292	千葉 茨城 埼玉	各産地ともに生育は回復し、肥大も良好で太物の発生率が高く、出荷量は前年を上回る見込み。潤沢な入荷量と年内の高値反動から、価格は前年をやや下回る見込み。
ほうれん草	やや少	1,555	やや高	567	茨城 群馬 馬	前進出荷により12月に出荷がまとまったため、1月は出荷量が減る可能性がある。全体の不足感により、前年をやや上回る価格となる見込み。
パセリ	やや少	38	やや高	1,229	千葉	夏場の高温・干ばつの影響を受けた株での出荷が続くため、出荷量は前年をやや下回る見込み。全体の不足感により、前年をやや上回る価格となる見込み。
春菊	やや多	266	やや安	920	千葉 栃木 茨城	暖冬のため、冷え込みの強かった前年を上回る出荷量となる見込み。気温高に伴い、鍋需要の低下などから前年を下回る価格となる見込み。
レタス	やや多	5,071	やや安	242	静岡 長崎 香	各産地で高温、適雨が続きため、生育は順調。大玉傾向での出荷が見込まれ、全体的に潤沢な出荷となる予想から前年を下回る価格となる見込み。
なばな	やや多	232	やや安	869	千葉 香	高温、適雨に恵まれ花咲きの発生が懸念されるが、各産地とも潤沢な出荷となる見込み。価格は出荷量増により軟調な展開が予想され、前年を下回る見込み。
さつまいも	やや多	2,940	やや安	262	千葉 茨城	各産地で作付面積が増加しているため、出荷量は前年を上回る見込み。価格は、年始以降に業務需要が再開するも在庫を抱えている客が多いため、前年を下回る見込み。
いちご	多	4,153	安	1,682	栃木 福岡	年内の出荷が遅れていた分、前年より多い出荷となる見込み。年始から各産地の出荷ピークが被り、供給過多になることが予想されるため、価格は前年を下回る見込み。

花 販売情勢

◆12月の販売経過【切花】

本年は、夏の猛暑による生育遅れや、11月から続く季節外れの気温高による生育前進がみられる品目が多く、月を通して入荷量にばらつきが出ました。

販売については、上旬は菊類やストックなど、数量がまとまらず平年高での販売となる品目もありましたが、中旬にかけては、花き全体が各産地で増量傾向となったため厳しい販売展開となりました。下旬に入ると、クリスマス需要からバラ・カーネーション等の赤系の洋花は需要最盛期となり、また年末商戦に向けて量販・小売店も徐々に仕入れを強めたことから安定した価格での販売となりました。

松市・千両市においては、松は夏場の高温・干ばつの影響から入荷量は前年よりも少なく、また上位等級の発生率も低下したことから前年高の販売となりました。千両については、天候不順から不作となった前年と比べ、上位等級を中心に入荷量が多く、前年を下回る価格での販売となりました。

◆今後の見通し（2月）【切花】

暖冬予報のなか、本年においては花き全般で生育前進により3月出荷分が前倒しとなる可能性が高いため、下旬にかけて入荷増量となることが見込まれます。

販売については、中旬にあるバレンタイン需要を中心とした販売となります。近年、各店舗でフラワーバレンタインの商材として多様な洋花が販売されるため、動きが出る見込みです。下旬においては入荷増量からやや厳しい販売となる見込みですが、桃の節句や卒業式に向け、徐々に需要は高まる見込みです。



◆今後の見通し（2月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
ス ト ッ ク	千葉からの出荷が主力。 生育前進傾向であるため3月出荷分が前倒しとなる可能性が高く、平年を上回る入荷となる見込み。 業務を中心に下旬頃から動きが出る見込み。
カーネーション	千葉・愛知からの出荷が主力。 今後の天候次第ではあるものの、国産品は安定した入荷となる見込み。輸入品は為替の影響次第ではあるものの、平年並みの入荷見込み。 業務を中心とした動きとなる見込み。
キンセンカ	千葉からの出荷が主力。 高冷化の影響から作付面積は減少傾向となっている。露地栽培のため生育は冷え込み次第となるものの、暖冬予報のため比較的安定した出荷となる見込み。
ガ ー ベ ラ	千葉・愛知・静岡からの出荷が主力。 各産地、引き続き燃油高騰の影響から加温節約することが懸念されるため、入荷量は平年を下回る見込み。 バレンタイン需要中心の動きとなる見込み。
菜 の 花	千葉・愛知・和歌山からの出荷が主力。 概ね昨年並みの作付状況のなか、産地によっては気温高から生育前進となっているため、入荷量は平年を下回る見込み。 中旬以降、桃の節句に向け動きが出る見込み。



米 穀 情 勢

1. うるち米の民間在庫量の推移について

農林水産省が公表した「民間在庫の推移」によると、令和5年11月末現在の在庫量は304万トンと前年より26万トン減少しています。これは令和5年産米作付転換に伴う主食うるち米生産量の減少や、コロナ禍後のインバウンド需要等により販売数量が回復傾向にあることが要因と考えられます。また、これまで過剰だった古米在庫も販売が進み、需給環境は改善傾向にあります。

【図表1】全国段階の民間在庫の推移（うるち米・出荷+販売段階） （単位：万玄米トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	105	199	289	304							
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26							
5年産米	1	14	132	232	255							
1年古米(4年産)	106	78	55	45	36							

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1. 水稲うるちもみおよび水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2. 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3. 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4. 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。

5. 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

2. 米穀販売事業者における販売数量の動向について

農林水産省が公表した「米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向」によると、令和5年11月単月の米穀販売事業者の販売数量は前年同月と比べ増大しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年と比べても回復傾向にあり、価格についても、販売数量と同様に回復傾向となっています。

【図表2】米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向（速報）

ア. 販売数量の動向（前年同月比）

	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
小売事業者向け	99.6%	101.3%	98.3%	100.8%	106.7%	99.5%	101.6%	103.6%	102.5%	104.7%	105.0%
(※令和元年との比較)	(104.4%)	(103.2%)	(101.8%)	(101.1%)	(107.7%)	(101.3%)	(99.2%)	(107.1%)	(100.3%)	(101.8%)	(103.8%)
中食・外食事業者等向け	103.2%	107.1%	102.8%	101.7%	106.4%	104.4%	107.2%	105.9%	105.2%	105.2%	105.3%
(※令和元年との比較)	(92.6%)	(94.4%)	(94.3%)	(95.0%)	(99.1%)	(99.4%)	(97.3%)	(97.4%)	(101.8%)	(100.4%)	(99.5%)
販売計	101.2%	103.8%	100.2%	101.2%	106.5%	101.6%	104.1%	104.7%	103.7%	104.9%	105.1%
(※令和元年との比較)	(98.6%)	(99.1%)	(98.3%)	(98.4%)	(103.8%)	(100.5%)	(98.3%)	(102.4%)	(101.0%)	(101.2%)	(101.8%)

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

イ. 販売価格の動向（前年同月比）

	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
小売事業者向け	102.2%	101.9%	103.7%	104.6%	105.5%	105.2%	106.6%	106.1%	106.3%	106.0%	106.6%
中食・外食事業者等向け	95.9%	97.2%	99.1%	101.6%	102.9%	103.8%	103.8%	104.4%	104.7%	104.9%	105.6%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1. 調査対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの以上の販売事業者（年間取扱数量約150万トン（令和5年産生産量661万トンの約2割））である。
2. 上記の数値については、調査対象者が販売している精米の全体の数量・価格の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。
3. 速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

3. 麦の栽培管理について

日本では、麦類の生育後期に降雨が多く、気温が高くなることが多いため、赤かび病が発生しやすい状況となっています。このようななか、昨年12月には国産小麦で赤かびにおける大きな事案が発生し、消費者、実需者の国産小麦の安全性への信用を失いかねない事態となっています。生産段階における予防および低減に向け、次の内容を確認し、発生防止に留意しましょう。

★赤かびの予防および低減のポイント

1. 播種時期（適期播種）

赤かび病に強い健全な麦を生産するため、適期播種に努めるとともに適切な播種密度（播種量）としましょう。また、麦類の連作を避け、適切な輪作体系を取り入れましょう。

2. 開花時期（適期防除）

開花を始めた時期から開花期までの間に、必ず最初の防除を実施しましょう。初回防除、追加防除ともに適期を逃さず行うことが重要であるため、降雨が続く場合であっても、短い晴れ間を利用して確実に防除を行いましょう。

3. 収穫時期（適期収穫）

刈り遅れにより麦類が降雨に当たると、発芽粒やくされ粒等の発生による品質低下だけでなく、赤かび病の進展等かび毒の産生を助長する原因となります。一方、早刈りや降雨直後の収穫は未熟粒や異臭の発生、乾燥時間の増加等の原因となるため、適期に確実に収穫しましょう。

4. 調製（適切な乾燥調製の実施）

収穫した麦は速やかに、乾燥調製施設に搬入し乾燥させましょう。また、乾燥調製施設において粒厚選別、比重選別等による調製を実施し、調製後の貯蔵環境は清潔に保ち、温湿度を適切に管理しましょう。

農業機械
情報

共同購入コンバインを取り扱い開始

共同購入 第3弾

生産者&JA

共同購入コンバイン 誕生!!

全国7千名
以上の
稲作生産者の
声を反映



型式
YH448AEJU

メーカー希望小売価格
670万円(税抜)

4条刈り

51.5馬力
(クロス)

48.4馬力
(ネット)

主な機能

- 車体水平制御
機体が左右に傾いても水平に保つ
- 自動こぎ深さ制御
- 手こぎ安全装置
- オーガ自動制御
(旋回・収納)
- オートデセル
(エンジン回転自動制御)
- 常時駆動方式(FDS)
**湿田作業でもなめらかな旋回と
安定した直進ができる**
- 刈取オートクラッチ
- 無給油で概ね1日作業
(おおよそ6時間を想定)が
おこなえる燃料タンク(43ℓ)
- 掻きこみペダル

JAグループからのお願い | 注文いただいてから納品まで4カ月程度かかります。
[お問い合わせは最寄りのJAまで] | 令和9年5月までにご注文をお願いします。



JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。



SIDE



BACK

\\ 詳細はこちら /



共同購入コンバインに
ついて

YouTube



点検整備性の改良点に
ついて

YouTube



JA全農ちば
ホームページ

農業
機械
情報

肥料情報

水稻育苗培土・省力化技術のご紹介



昔から『苗半作』と言われるように、根はりが良く強い苗を作ることは、本田での活着や初期成育に影響する、とても重要な作業です。
一緒に、令和6年産稲作の最高のスタートを目指しましょう。

★長きにわたりご利用いただいている、信頼と実績のある培土シリーズ

<p>【20kgポリ袋】</p> <p>【合成培土3号】</p> <p>【1,000kgフレコン】</p> <p>【500kgフレコン】</p> <p>粒揃いが良く、透水性・通気性・保水性に優れた粒状培土です。</p>	<p>【20kgポリ袋】</p> <p>【平成培土】</p> <p>【1,000kgフレコン】</p> <p>【500kgフレコン】</p> <p>合成培土3号と同じNPKで、価格を抑えた培土です。</p>	<p>【15kgポリ袋】</p> <p>【軽量培土15】</p> <p>【500kgフレコン】</p> <p>床土に使用することで、苗箱1箱が約1kg軽くなります！</p>	<p>★タネ粉・育苗兼用 酸素供給材</p> <p>【4Lポリ缶】</p> <p>【活水】</p> <p>浸種・催芽時に添加することで、発芽の揃いが良くなります。育苗中の苗箱へ灌注することで、健苗を作ります。</p>
---	---	--	--

- 1,000kgフレコンは、倒れにくく、保管しやすい形状を採用しております。
- 各培土のpHは、4.5～5.5に調整してあります。

究極の省力化肥料「苗箱まかせ」



- 播種時に「苗箱まかせ」を苗箱に施肥することで、本田での基肥、追肥作業が省略できます！
- 肥料の利用効率が側状施肥よりも優れている接触施肥のため、減肥が可能となります！
- ➔ 施肥作業の軽減や減肥により、トータル生産コストの低減が期待できます。



育苗時の「苗箱まかせ」

苗箱まかせのタイプ
苗箱まかせN400-60 (60日タイプ)
苗箱まかせN400-100 (100日タイプ)
苗箱まかせN400-120 (120日タイプ)
苗箱まかせN400-100B30 (60日+100日ブレンドタイプ)
苗箱まかせN400-120B30 (60日+120日ブレンドタイプ)

◆「苗箱まかせ」は10kg袋、500kgフレコンがあります！

詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください

資材情報

「本州太陽シート」で らくらく平置き育苗（水稲）

1. 「本州太陽シート」とは

「本州太陽シート」（以下、太陽シート）は表面がキラキラと反射する薄いアルミ蒸着シートで、水稲の平置き育苗向けに開発された商品です。太陽シート最大の特徴である高い遮熱性でシート内の温度上昇を抑えるため、ハウス内が高温になっても基本的には換気は必要ありません。シート自体も熱を持たない素材のため、苗先が触れても焼ける心配がありません。

* 野菜の育苗（ねぎ、たまねぎ、ほうれん草 他）にも使用できます。

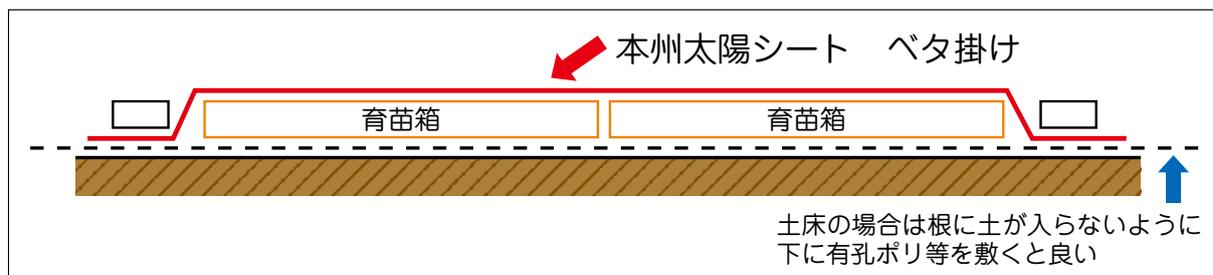
2. 使用方法（平置きべたがけ育苗法）

ハウス内に播種した育苗箱を平らに並べ、灌水を十分に行います（プール育苗にも最適です）。その上に太陽シートを直接べたがけし、出芽するまで約1週間かけておくだけです。**高い遮熱性により、面倒な日中のハウス換気作業が必要ありません。**夜間はアルミ層が地面からの放熱を抑え、シート下を保温します。アルミ層を含む3層構造が水分の蒸発を防ぐため、出芽まで追加の灌水も必要ありません。一定の適温下で育苗することで根張りが良い苗に生長します。

* 外気温が25℃以上（夏日）の場合やハウスが隣接している場合は換気をしてください。

* 出芽が始まり、不完全葉が10～15mm程度の高さになる頃、太陽シートをはがして緑化に移行します。

* 育苗器で芽だしした苗の緑化作業にも使えます。



3. 規格

巾×長さ	梱包単位	荷姿
1,700mm×50m	3本	紙管巻き
2,000mm×50m	3本	紙管巻き
2,400mm×50m	3枚	3ツ折り
2,700mm×50m	3枚	4ツ折り



商品説明



使い方



旭洋練HP

「本州太陽シート」の詳細は下記のURLまたはQRコードからご覧いただけます。

https://www.kyokuyo-pp.co.jp/product_service/pickup/pickup_product-49/

お問い合わせはお気軽に最寄りのJAまたはJA全農ちば資材課（043-245-7379）へご連絡ください

TOPICS

牛乳とお肉を使った料理教室を開催！

ＪＡ全農ちばは12月6日(水)、ＪＡ西印旛と千葉県牛乳普及協会の協力のもと、同ＪＡの直売所「とれたて産直館印西店」にて、「ミルクと野菜とお肉のお料理教室」を開催しました。

料理教室は、直売所の来店者から参加者を募り、印西市在住の方を中心に9名が参加しました。講師には、千葉県牛乳普及協会から石橋京子先生(千葉伝統郷土料理研究会)を招き、冬場に消費の落ち込む牛乳をふんだんに使用したハンバーグを含む6品を作りました。

ハンバーグの材料として、同直売所内に出店している「全農のお肉工房印西店」から「房総ポーク」の挽肉を提供し、ＪＡから地元の新鮮野菜と、ＪＡ全農ちばからＡコープマーク品をプレゼントしました。

参加者からは「カッターチーズが簡単に作れると思わなかった」、「いつもこの直売所に来ている。また来ます」などの声が聞かれました。

寒い時期は、長期休みで学校給食が停止することなどから牛乳の消費が落ち込みやすく、供給が余剰になります。ＪＡ全農ちばでは、千葉県牛乳普及協会とともに、今後も牛乳の消費拡大に取り組むほか、「全農のお肉工房」にて千葉県産銘柄肉の直売に取り組めます。



協力してハンバーグを作る参加者の皆さま



彩り鮮やかな6品が完成

TOPICS

令和5年度千葉県農協A.T.A協議会
総合技術研究会およびサツマイモ専門指導員認証式を開催

千葉県農協A.T.A協議会は12月20日(水)と21日(木)、成田市内のホテルで「令和5年度千葉県農協A.T.A協議会総合技術研究会およびサツマイモ専門指導員認証式」を開催しました。

専門指導員認証制度は、専門化がすすむ担い手のニーズに応え、ＪＡ・地域農業を支える人材を育成することを目的としています。1日目に開催した認証式では、5ＪＡ8名の指導員がサツマイモ専門指導員として認証を受け、併せて指導員によるさつまいも生産振興の取り組みを参加者へ報告しました。

2日間にわたった総合技術研究会では、(公社)千葉県園芸協会と千葉県農林水産部から、県の生産振興の取り組みおよび産地で課題となっている夏場の高温対策が紹介されました。また、耕畜連携の強化に向けた堆肥試験の結果報告や混合堆肥複合肥料の紹介があり、活発な質疑応答がなされました。

参加者は、研修で得た情報・知識を持ち帰り、生産者の皆さまへの適切な営農指導に繋げてまいります。



今回認証を受けた専門指導員の皆さま



ハラペコさんに贈るいちばんレシピ



さつまいもde ハッセルバック

材料（2～3人分）

さつまいも……………1本	オリーブオイル…小さじ2
ベーコン……………3枚	塩……………適量
スライスチーズ…3枚	こしょう……………適量
パセリ……………適量	

作り方

- ① さつまいもの前後に割りばしを置き、切り離さないように5mm幅に切り込みを入れる。
 - ② さっと水にくぐらせてからラップで包み、電子レンジ（500W）で5分加熱する。
 - ③ ベーコン・スライスチーズを4～6等分に切る。
 - ④ 2の切れ目に3を交互に挟み込む。
 - ⑤ 耐熱皿に4をのせ、塩・オリーブオイルをかけて180度に予熱したオーブンで10分くらい焼く。
 - ⑥ こしょうをふり、パセリのみじん切りを散らす。
- ※トースターやグリルで焼いてもOKです。

その他のJA全農ちばオリジナルレシピはこちらからご覧いただけます。

🍌 JA全農ちば ハラペコさんに贈るいちばんレシピ 🍌
<https://www.zennoh.or.jp/cb/product/recipe/>

レシピページ



JA全農インターネット通販 千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

JAタウン JA全農ちば 愛情いちばん館

2024年も
宜しく願
います！



ほんの一例です/ 主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用には是非ご利用ください。

君津のカラー エレガンス 切花（10本）

洋風にも和風にも合うカラーは、プレゼントにもおススメ♪

豊富な地下水が噴出し、湿地性のカラーの栽培に適した千葉県君津市は、日本トップクラスの生産量を誇るカラーの産地です。

黄色の花を取り巻く“包（ほう）”の優しい白色、それに続くスラリとした緑の色鮮やかな茎が特長です！



JAタウン「JA全農ちば 愛情いちばん館」ショップ

野菜・果物・お肉・農産物加工品・海の幸・お花等様々な商品を取り揃えております。

※御電話での注文は承っておりません、ご了承ください。

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3401/>



愛情いちばん館HP

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会
千葉県本部 園芸部
園芸直販課
TEL 043-245-2911

全国の旬のおいしさをお届けするJAグループの頒布会

旬鮮倶楽部

旬の味覚を毎月お届け

年1回のお申込みで、毎月カタログからお選びいただいた商品をお届けします。毎月旬の味覚が届く1年間をお楽しみください。

果物、野菜、お肉といった国産農畜産物や、それらを使ったお惣菜やスイーツに加え、全国各地の名産品やお花も取り揃えています。旬の果物の味を楽しむ、遠方の名産品を旅行気分を楽しむ、お花を見て楽しむなど、様々な楽しみ方が可能です。



チャンスは2回! 全国で合計600名様に抽選で「鮭といくららの醤油漬」をプレゼント!

1 年間利用者キャンペーン
2024年度旬鮮倶楽部を年間通じて12か月以上、**2024年1月31日(水)まで**にご注文いただいた方。
抽選で**300**名様

2 WEBアンケートキャンペーン
2024年度4月お届け商品に同封する文書に記載の二次元バーコードまたはURLからアクセスし、WEBアンケートにご回答いただいた方。
抽選で**300**名様

ご注文からお届けまでの流れ

Step 1 カタログから毎月1品以上、年間の商品をお選びください。掲載商品一例
各商品は、2,970円～10,910円(税込み・送料込)です。

月別商品 旬の果物など、その月限定で注文できる商品(毎月10商品)

6月 佐藤錦	7月 鹿児島県大隅産うなぎ蒲焼3巻	11月 蔵王ラ・フランス	12月 みちのく初桜	2月 さくら餅
-----------	----------------------	-----------------	---------------	------------

特集商品 コンセプトやイベントに合わせた特別な商品(10特集、計48品)
※特集により注文可能月が限られます。

ラーメン特集 山形夢平監修中華そば	クリスマス 国産若鶏のローストチキン	あったか鍋 博多もつ鍋セット	通年商品 栃木県産豚切落し味付け 食比べセット	通年商品 鹿児島県産さつま豚 角煮まんじゅう
----------------------	-----------------------	-------------------	----------------------------	---------------------------

Step 2 お申込み
専用の申込書(新規・継続)にご希望の商品記号をご記入のうえ、お取扱いJA(農協)またはAコープ店でお手続きください。

Step 3 商品のお届け
お申込みの商品はカタログに掲載されたお届け時期に会員様のお手元に届きます。
※天候等やむを得ない理由により、お届け月がカタログ掲載月と前後することがありますがお引き落としはカタログ掲載月に基づきます。

Step 4 お支払い
お取扱いJA(農協)にお持ちの貯金口座から、商品お届け予定月の翌月以降に自動的に引き落とされます。
※お取扱いのJA(農協)により引落月が異なる場合がございます。

※天候により生育状況が変化しやすい果物等が中心のカタログです。商品の性質上、お届け日をご指定いただくことはできかねますのでご了承ください。

「旬鮮倶楽部」のカタログのご希望、ご質問、お申し込みはお近くのJAへお問い合わせください。



お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る個人情報の取り扱いについて

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyo fm

Life time audio 80.0

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN 13:00～13:55 毎週 **生放送**
全国の農畜産物をプレゼントします。

未来つなぐお祭りパワー 15:50～16:00 毎週
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

農業部 23:00～23:06 毎週
農業について一緒に楽しく学びましょう。

JA全農ちば 公式HP <https://www.zenn-rikyo.jp/chiiba/>

JA全農ちば 公式Instagram